

2023 年 3 月 月例市長記者会見 (原 稿)

項 目

- | | |
|----------------------------------|---------|
| (1) 2023（令和 5）年度の新型コロナウイルスワクチン接種 | …… P 1 |
| (2) 郡山市制施行 100 周年記念ロゴマーク等が決定 | …… P 4 |
| (3) 富久山クリーンセンターに体感型環境学習施設をオープン | …… P 7 |
| (4) 広域圏内事業者の資金調達を支援 | …… P 9 |
| (5) 上下水道局における D X の推進 | …… P 12 |

【配布資料】

- | | |
|---|---------|
| ①Koriyama Renaissance～東日本大震災からの復興・創生 12 年の歩み～ | …… P 14 |
| ②災害発生時の広域圏内の相互（対口）支援 | …… P 17 |
| ③ゼロ市債の発注状況 | …… P 19 |

(1) 2023(令和5)年度の新型コロナウイルスワクチン接種《ワクチンPT》

2023（令和5）年度の新型コロナウイルスワクチン接種
につきましては、**資料1-1**をご覧ください。

2023年度の新型コロナウイルスワクチン接種は、
現在行われている接種を延長し、
引き続き、国により全額公費負担で
実施されることとなりました。

2023年度のワクチン接種は、
重症者を減らすことを目的として実施し、
5歳以上の全ての方が、年1回接種可能となります。

重症化リスクの高い方につきましては、
「令和5年 春開始 接種」として、
追加で接種することが可能です。

対象となる方は、
65歳以上の方、
5歳以上64歳以下の基礎疾患等をお持ちの方、
医療機関、高齢者施設及び

障がい者施設等の従事者の方々であり、
使用するワクチンは、
オミクロン株対応2価ワクチンとなります。

これに対し、
「令和5年 春開始 接種」の対象とならない
5歳以上64歳以下の方の3回目以降の接種は、
5月7日をもって一旦終了となります。

また、9月以降に開始予定の、
「令和5年 秋開始 接種」につきましては、
5歳以上の全ての方を対象とした
接種を開始する予定です。

なお、2023年度におきましても、
引き続き、5歳以上の1・2回目接種及び
生後6か月から4歳までの接種は可能となっております。

次に、[資料1-2](#)をご覧ください。
重症化リスクの高い方への
接種券発送につきましては、

4月24日月曜日から順次、発送を予定しております。

接種体制につきましては、
これまで同様に、2か所の集団接種会場と
132の医療機関の個別接種で実施いたします。

ワクチンの接種状況につきましては、
配布しました資料1-3を及び資料1-4を
後ほどご覧ください。

新型コロナワクチン接種につきましては、
2023年度におきましても、
郡山医師会などの関係機関とも
緊密に連携を図りながら、
引き続き、接種体制を確保するとともに、
市民の皆様へ、適切、かつ、
わかりやすい情報提供に努めてまいります。

(2) 郡山市制施行 100 周年記念キャッチフレーズ・ロゴマークが決定《政策開発部》

郡山市制施行 100 周年記念キャッチフレーズ・ロゴマーク

につきましては、**資料 2**をご覧ください。

郡山市は、来年 2024（令和 6）年に
市制施行 100 周年という節目の年を迎えます。
市制施行 100 周年記念事業を
オール郡山で取り組むために、
市民・事業者・行政等が実施する
各種記念事業などに利用する
キャッチフレーズとロゴマークが決定いたしました。

キャッチフレーズは「ひらけ 未来へ こおりやま」、
ロゴマークはこちらのパネルの作品となります。

このキャッチフレーズには、
若者を含む市民が未来の扉を開いていくとともに、
郡山の発展の礎である「開拓者精神」を
未来へ受け継いでいく姿を表現しています。

また、このロゴマークは、
全国から 518 点の応募があった中から、
市民による一般投票及び
郡山市制施行 100 周年記念事業プロモーション委員会での
協議を経て決定したのですが、
「100 周年」の文字を取り囲むモチーフは、
これまで先人たちが築き上げてきた
世界に誇れる歴史や文化、特産品など
それぞれが繋がりあい、一つの大きな輪になっており、
これらが郡山市の歴史を
創り上げてきたことを表現しています。

また、100 周年の「0 0」（ゼロゼロ）を
無限大にしたデザインは、
これからも郡山市が次の 100 年に向けて、
さらには無限大に発展し続けて欲しい想いを
表現しています。

ロゴマークのデータにつきましては、
別途、政策開発課までお問い合わせください。

なお、来週 3 月 27 日、月曜日、午後 4 時から、
こちらの会場において最優秀賞受賞者をお迎えし、
ロゴマーク表彰式を開催いたします。

今後、これらを活用した広報などの機運醸成を図り、
100 周年記念事業に取り組んでまいります。

(3)富久山クリーンセンターに体感型環境学習施設をオープン《環境部》

富久山クリーンセンター体感型環境学習施設の開所

につきましては、**資料3**をご覧ください。

信金中央金庫様の

「SCBふるさと応援団」事業による寄附金を財源とし、
郡山信用金庫様との協働により、
体感型環境学習施設を
富久山クリーンセンター内に整備しました。

この施設には、
次世代を担う子どもたちが
楽しみながら環境のことを考えることができるように
タッチパネル式のクイズやゲーム、
環境の体感コーナーなどがあります。

4月5日、水曜日に開所式を行いますので、
ぜひ、お越しください。

なお、3月16日に、
プラントメーカーである川崎重工業株式会社様と、
「個体吸収法により
排ガス中の二酸化炭素を分離回収する
脱炭素化技術の実証試験」に関する協定を
締結いたしました。

この実証試験を
ごみ処理施設で実施するのは、
国内では初の試みとなります。

来年度から実施する
この実証試験を多くの方に知っていただくため、
体感型環境学習施設とともに、
施設見学に来ていただいた方々に
わかりやすく紹介していく予定であります。

(4) 広域圏内事業者の資金調達の支援実績《産業観光部》

広域圏内事業者への資金調達支援

～こおりやま産業クラウドファンディング事業～

につきましては、[資料 4](#)をご覧ください。

本市では、こおりやま広域圏内の事業者の創業や
新商品開発、販路開拓時の資金調達を支援するため、
2018 年度から産業分野の
クラウドファンディングの支援を行っております。

クラウドファンディングは、
まずは多くの方々にプロジェクトを知っていただくことが
重要であることから、
本市ウェブサイトや LINE、Facebook 等の
SNS での周知、
報道機関の皆様への情報提供、
こおりやま広域圏内の市町村への広報協力依頼などの
情報発信を行っております。

また、セミナーや支援事業者による相談体制を構築し、クラウドファンディングに挑戦する事業者の皆様のサポートを行っているところであります。

ほかにも、市内事業者や本市創業支援事業の採択者が、クラウドファンディングを実行する場合には、その経費の一部を補助しております。

これまで、本市が支援したプロジェクトは合計 47 件、調達額は 1 億 16 万円となっております。

また、2019 年度から P R 支援等の対象をこおりやま広域圏内まで拡充し、これまで 7 件のプロジェクトを支援しております。

当初設定した目標額を達成した割合は事業開始以降各年度で 60%を超え、全期間を通して 76.5%、と高い成功率を示しております。

コロナ禍や経営コストの上昇等、
事業者の皆様にとって厳しい状況が続いています。
今後におきましても、
クラウドファンディングによる資金調達をはじめ、
創業や販路開拓等の新たな挑戦を支援し、
国内外へのマーケットメイキングを後押ししてまいります。

(5)上下水道局内にけるDXの推進《上下水道局》

上下水道局内におけるDXの推進につきましては、

資料5をご覧ください。

上下水道局では、
DXの推進により、
電子決裁によるペーパーレス化や
ファイルレス化に対応する
新しい業務系システムを構築し
コストの削減と生産性の向上を図ります。

DXの内容としましては、
PCの無線化と合わせ、
局のシステムネットワーク環境を
本庁のLGWAN（総合行政ネットワーク）環境に
移行することにより
局内の端末が272台から180台となり92台の削減、
年間の端末リース料等が1,820万9千円から

５９８万６千円となり

年額１，２２２万４千円の削減となります。

また、電子決裁やテレワークに対応する業務が増え

職員の業務の効率化が図られるなど

今後も、働き方改革を推進してまいります。

【配布資料 1】 Koriyama Renaissance (こおりやま ルネサンス)

～東日本大震災からの復興・創生12年の歩み～ 《政策開発部》

配布資料 1 -1 につきましては、

2011 年 3 月 11 日発生 of 東日本大震災から
12 年が経過したことを受け、

本市におけるこれまでの主な取組につきまして、

「Koriyama Renaissance (こおりやま ルネサンス)」
として、まとめたものであります。

Renaissance (ルネサンス) とは、
フランス語で「再生」や「復活」を意味します。

東日本大震災や現下の新型コロナウイルスからの、
力強い再生を目指してまいりたいという意を込め、
今回のパンフレットの表題としたところです。

また、配布資料 1 -2 につきましては、
これらの取組による成果を「見える化」し、
グラフによって、示したものであります。

【図 1】 放射線量の遡減に関する推移

◆徹底した除染活動により、市内における平均線量は、
国の基準値を下回る数値まで遡減しました。

【図 2】社会動態の推移

◆一時は 1,500 人程度の転出超過でしたが、
現在は、おおむね「±0」にまで回復しました。

【図 3】学校施設の耐震化

◆子どもたちの居場所として、
また、避難所としての学校施設の耐震化について、
当初予定を大幅に前倒しし、
2017 年度に、
「学校施設の耐震化率 100%」を達成しました。

【図 4】木造住宅耐震改修への補助件数の推移

◆震災直後から実施している、
「木造住宅の耐震改修に対する補助制度」
の利用件数は増加しております。
2021 年及び 2022 年に発生した、
「福島県沖地震」の影響もあり、
市民の防災意識が、
より一層の高まりを見せています。

【図 5】保育所受入児童数の推移

◆子育て環境の充実を図るため、
保育所における受入児童数の増加に取り組み、
2021 年及び 2022 年には、
「待機児童ゼロ」を達成しました。

【図 6】市民所得の推移

【図 7】相続税路線価（郡山駅周辺）の推移

【図 8】個人市民税収入の推移

◆現下の国際情勢等による原油価格・物価高騰や、
新型コロナウイルス感染症は、
未だ、市民生活に影響を与えているものの、
震災当時と比較すると、増加・上昇傾向にあります。

今後とも、総合的・継続的に各種施策を実施し、
市民の皆様や事業者の皆様が、
所得・企業業績を伸ばすことができ、
それが、結果として市税の増収につながるよう、
「投資的まちづくり」による、
「Koriyama Renaissance（こおりやマルネサンス）」
に取り組んでまいります。

【配布資料2】こおりやま広域連携中枢都市圏

災害発生時の相互（対口）支援《政策開発課》

配布資料2につきましては、
こおりやま広域圏内における災害発生時の
相互支援の体制になります。

吾妻山において、3月10日以降、火山性地震が増加し
その後減少しているとの報道がありました。

また、磐梯山におきましても、3月16日に一時的に
火山性地震が増加したとの報道がありました。

こおりやま広域圏では、
あらかじめブロックごとに災害の種別に応じて
迅速に相互支援を行えるよう
2020年7月より体制を構築しています。
火山を含め、様々な災害においても
圏域全体の連携により、
安全・安心で持続可能なこおりやま広域圏を
推進してまいります。

- ◆こおりやま広域連携中枢都市圏災害時等の対口支援に
関する事務取扱要領を2020年7月22日に策定。
(磐梯町参加に係る要領改正2022年5月10日)

◆これまで新型コロナウイルス感染症、2019 年(令和元年)
東日本台風に係る対応で構成市町村間での
支援を行っている。

【配布資料3】ゼロ市債の発注状況《契約検査課》

配布資料3につきましては、
債務負担行為を設定し、
新年度（2023）予算で行う工事等の入札・契約を
前年度（2022）中にどのくらい発注しているかを
お示ししたものであります。

これにより、
新年度当初（4月）における工事等の着工を可能とし、
事業の早期完了と施工時期の平準化を図っております。